

各市町村における農福連携に関する令和8年度の取組

※照会先：JA湘南、JAさがみ、JAあつぎ、JA県央愛川、JAはだのエリアの各市町村及び横浜市・小田原市

市町村	事業名	予算（円）	概要	R7実績
神奈川県（共生推進本部室）	農福連携等マッチング支援事業	3,509,000	農業者と障害福祉サービス事業所等とのマッチングの機会を創出する。	マッチング件数23件
〃（農業振興課）	農福連携推進事業費	5,460,000	①農福連携を学ぶ取組 農福連携を学ぶ研修会を開催する。 ②農福連携を始める者への支援 農福連携に取り組む農業経営体に対し、環境整備等に係る経費を補助する。 ③指導者の育成 農福連携を指導する普及指導員等への研修会を開催する。 ※補助対象経費の1/3以内（上限100万円/件） ④農福連携産物の販売支援 農福連携により生産された農作物や加工品をPRするための支援を行う。	・研修会及び現地見学会の開催
〃（障害福祉課）	県共同受注窓口のネットワークを生かした農福連携による障害福祉サービス事業所等の支援	3,263,000	①セミナー・相談会 ②農福マルシェ	①セミナー・相談会（2部構成配信・相談会1回） ②農福マルシェ（1回/5事業所出店）等
横浜市	農政推進事業費の中で実施	農政推進事業費 34,995,000円の中で実施	農福連携の普及啓発（啓発物品の貸与等）	・啓発物品（R6年度にロゴマーク作成）の貸与 ・農福連携セミナー実施
鎌倉市	鎌倉市農業就労体験セミナー実施事業	866,720	障害者等を対象に、多様な就労の場を確保することで、障害者等の社会参加、自立の促進を図るとともに、就労に向けた基礎的知識・技術等の習得を目的とした農業に関する就労セミナーを実施する。	【農業体験コース】 農業を通じた障害者等の社会参加、居場所の提供を目的とし、さまざまな人とのコミュニケーションの中で、農具の使い方や作物を育てる楽しさなどを学ぶコース。 参加者数：7名、開催回数12回（月1回） 【就労特化コース】 就労に向けた農業に関する知識・技術等を習得することを目的とし、実際の就労に近い形での実習を実施するコース。 参加者数：4名、開催回数20回 ※就労特化コースについてはR7で終了
大和市	農福連携推進業務委託	900,000	農福連携推進のため、業務委託によりスタートアップミーティングやコーディネーター養成講座を開催する。	概要と同様の取り組みを実施
藤沢市	農福連携促進事業	1,980,000	農業者が福祉施設等に支払う委託料に対し1日当たり3,000円以内 ※補助を受けることができるのは年度内に60日以内	17件対して補助予定
厚木市	農福連携推進事業	800,000	農福連携に取り組む農業者に対し、福祉事業者へ作業報酬等の一部を補助金として交付する。	5件の交付決定を行った。
	農福交流促進事業	50,000	レクリエーションの一環として農作業を行う障がい者等を受け入れる農家等に対し、最大50,000円の交付金を交付する。	未定
小田原市	農福連携推進事業	-	マッチング支援推進のための委託	計6件のマッチング支援に加え、懇談会の開催や事業所向けの説明会を実施。
秦野市 （社会福祉協議会）	農福連携支援事業	90,000 （予定）	「お試しノウフク」の実施1回当たり、農家に謝金として8,000円、施設に工賃として8,000円を支払う	「お試しノウフク」を1件実施した